

(1)平成30年 7月20日

森 の 声

森林組合だより

森 の 声

平成30年
(2018年)

7月20日
No.124

編集、発行：〒012-0055 秋田県湯沢市山田字福島開372番地5 雄勝広域森林組合
TEL 0183-72-1197 FAX 0183-72-1199 E-mail:sinrin@ogachimori.com

第22回 通常総代会開催



全議案、全員賛成により可決

第一十一回通常総代会全議案可決

六月八日、広域合併二十周年年記念式典終了後、第二十五回通常総代会が一九二名中一五八名の出席（委任出席を含む）のもと開催されました。組合長挨拶（後に全文掲載）、来賓を代表して小松雄勝地域振興局農林部長の祝辞を頂きました。続いて、議長に旧湯沢市地区小松久雄氏を選任して議事に入りました。全議案満場一致で可決されました。尚、可決された議案は次のとおりです。

議案第一号 平成二十九年度業務報告書承認について
議案第二号 平成三〇年度事業計画書設定について
議案第三号 賦課金の賦課及び徴収方法について
議案第四号 本年度内における借入金の最高限度について
議案第五号 本年度内における組合員及び組合員以外の者に対する貸付金の最高限度について
議案第六号 本年度内における債務保証の最高限度について
議案第八号 役員報酬について
議案第九号 余裕金の預け入先について
議案第十号 定款の一部改正について



組合長挨拶

組合長挨拶

平成30年になりまして22回目の通常総代会ということになります。今日は総代の皆様方には、式典からお付き合いを頂きましてまことにありがとうございました。

付帯期議決 年度内途中で事業計画の一部について、軽微な変更に至った時は、理事会で変更できることを承認する。

議案第十一号 森林経営規程の制定について
議案第十二号 共同施業規程の一部改正について

げますとともに今後ともご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

まず始めにさきほどの式典の

挨拶の中で一寸お話ししましたけれども、昨年のこの総代会から今日までの間に国として大きな、画期的なことがありましたのでこの事

までに國として大きな、画期的なことがあります。この税の中身であります。それは、私達森林組

合系統が長年の悲願ということであります森林環境税これが昨年

末の与党の税制大綱の中で森林環

境税および森林環境譲与税と言う形で実現の運びとなりました。こ

の新しい税制を何も無いところから作るというのは、大変なことであります。50年に1回あるかなし

かという状況でありますけれども30数年かかりました。昭和60年前後ですけれども山村を抱える川上の市町村長たちが中心になり、そこに我々森林組合も連携をしながら水源税を創設しようとそういう大きな運動が起きた訳です。でも私も当初からこれに関わってずっときたわけですから、途中で何回か挫折しそうになり、これは難しいな、とても無理だなと思つたことも何回かありましたけれども地道に皆で力を合わせて運動を開拓してきました結果先程話したようなことで税が誕生したということです。

合に秋田県には約15億円の財源が交付されます。この地域には1億2千万円から1億3千万円くらいにというところで試算しておりますけれども、これが毎年交付されるということになります。これをもつて市町村が中心になり地域の森林をしっかりと育て、そして将来の皆さんのがしっかりした環境を残していくことのためにこれから我々がうんと頑張って行かなければならぬと思つてはいるところでございます。ただ、

また本日は御来賓といたしまして雄勝地域振興局農林部長の小松様はじめ日頃から大変お世話になつておられる方々に多数ご臨席いたしました。心から感謝申し上げます。

去る5月25日に関連法案が国会を通過いたしまして、私自身全国森林組合連

私自身といたしましてこの森林環境税を創設したということで最終駆ではあります。まだまだこの先に自分の仕事があると思ってましてそれは、森林所有者に山林所得をしつかりと与えること、山を持つて良かったなどいう状況を作らなければならないそこが私の終着点だとこういうふうに思つているところでございます。いずれにしても山の経済的価値というものをもうちょっと上げていかなければならぬということです。今後も益々頑張つて行かなければならないと思つているところですが私自身今月の26日をもつて6年間全森連の会長を努めましたけれども退任をいたします。退任をしてですね秋田に帰つてきて秋田から今までの以上に大きい声を出して行きたいとこんなふうに思つているところです。



議長 小松 久雄

今年の7月の末です。この我が雄物川で氾濫を致しました。1ヶ月後の8月にまた氾濫を致しました。2回目の氾濫時は大曲の花火大会の直前ということで非常に開催が危ぶまれた訳ですがけれども何とか関係者が全力を振り絞つて開会にこぎつけたということでありますし、その点は良かったなと思つていて次第でございますけれども、九州、あるいは雄物川ということで1年間そして今年に入つて、忘れもしません5月18日です。大変な集中豪雨のもと今度は雄物川で2箇所氾濫したという、これも大変な被害が出ました。これに限らず今、全国的に自然災害が非常に頻発そしてエスカレートしている状況で、この状況を今はつきりと温暖化のせいだというふうに断言されております。まだまだ地球温暖化防止対策というのは手薄になつてているといふふうな感じがしますので我が国としても真剣に取り組んで行かなければなりません。それは、自然災害です。最近の自然災害は非常にエスカレートしております。頻発している状況です。

近い所では昨年の九州北部豪雨これは今までかつて無かつたほどの常識を逸脱した大変な降雨量だったというようなことで山から立木が流れ出しまして水路を広範囲にわたつて塞いで大きな被害が出ました。これが完全に復旧するまでにはこれから何年もかかるだろうと言われております。それから、去年の7月の末です。この我が雄物川で氾濫を致しました。1ヶ月後の8月にまた氾濫を致しました。2回目の氾濫時は大曲の花火大会の直前ということで非常に開催が危ぶまれた訳ですがけれども何とか関係者が全力を振り絞つて開会にこぎつけたということでありますし、その点は良かったなと思つていて次第でございますけれども、このまま生活していくには心配はいらないわけですから、私は立場上いろいろなところに行つてこの話をさせていただいていたくことにありますし、特に都会の皆さんに特にここを強調して言うんです。我々はいいけれども、皆さんはちゃんと山村の自然に甘え過ぎるとしつかりとここを意識してもらいたいといふふうな感じがしますのでこれからもつうふうで、この延長線上に今回の森林環境があると解釈も出来るわけですが、いざですね、これからもつともっと自然を大事にしていかなければいけない。こういう状況に変わりはないだろうと思っています。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

収源の森林の整備というものをしっかりとやつていくという、これは今後も続けていかなければならぬと思う訳ですけれども、これに関して横道に逸れますけれども、我々がですね一人1年間呼吸します。これを、オフセットするに胸高直径杉の木で24cmから30cm、平たく言えば8寸から1尺の杉の木が23本要ります23本自分で持つていなければ呼吸してはいけない、車1台160本必要です。そして5人家族が1年間生活してそこから排出する二酸化炭素を吸収してくれる為には杉の木がなんと580本になります。つまり、1haは要らないかもしませんけれども7.8反歩の森林を持たなければいけない、ただ、ここは、我々が生活するところはこういう環境ですのでその心配はいらないわけですから、私は立場上いろいろなところに行つてこの話をさせていただいていたくことがありますし、特に都会の皆さんに特にここを強調して言うんです。我々はいいけれども、皆さんはちゃんと山村の自然に甘え過ぎるとしつかりとここを意識してもらいたいといふふうな感じがしますのでこれからもつうふうで、この延長線上に今回の森林環境があると解釈も出来るわけですが、いざですね、これからもつともっと自然を大事にしていかなければいけない。こういう状況に変わりはないだろうと思っています。今日はどうぞよろしくお願いいたします。



来賓 小松農林部長

貸借対照表

平成30年3月31日現在
単位：千円

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	649,269	流動負債	366,498
有形固定資産	166,529	固定負債	<u>221,166</u>
無形固定資産	14,585	負債合計	587,664
外部出資	30,464	純資産の部	
その他の固定資産	502	出資金	108,078
繰延資産	0	剩余金	165,607
資産合計	<u>861,349</u>	資本合計	<u>273,685</u>
		負債・資本合計	<u>861,349</u>

損益計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
単位：千円

平成29年度剩余金処分

単位：千円			
摘要	内訳	小計	合計
I 当期末処分剩余金	当期剩余金 繰越剩余金	12,215 <u>8,722</u>	20,937
II 剰余金処分額			
1. 法定準備金		2,500	
2. 任意積立金		3,000	
(1)建物修繕引当金		7,000	
(2)損失補填積立金			
III 次期繰越剩余金		<u>12,500</u>	<u>8,437</u>

科 目	小 計	合 計
I 事業総損益		
1 収 益	849,264	
2 費 用	<u>626,099</u>	223,165
事業総利益		
II 事業管理費		<u>197,036</u>
事 業 利 益		26,129
III 事業外損益		
1 事業外収益	7,012	
2 事業外費用	<u>9,711</u>	-2,699
事業外損益		
経常利益		23,430
IV 特別損益		
1 特別利益	643	
2 特別損失	<u>1,445</u>	-802
特別損益		
税引前当期純利益		22,628
法人・住民及び事業税額		10,413
当期純利益		12,215
前期繰越剩余金		9,722
当期末処分剩余金		<u>21,937</u>

平成30年度事業計画

自 至 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

部 門	収 益	費 用	損 益
指 導	9,759 千円	6,788 千円	2,971 千円
販 売	336,112	268,848	67,264
加 工	33,097	31,137	1,960
森林整備	337,433	210,048	127,385
計	716,401	516,821	199,580

『桐共販市』

6月28日(木)、院内の桐市場において「第36回桐原木共販市」が開催されました。前日の風雨も止み、時折晴れ間がのぞく中、大勢の方々が訪れました。

出品数は、なんとか昨年とほぼ同じ数量を確保することが出来、入札に参加した業者数は昨年より4業者少なかったものの、落札率は67.9%と昨年を上回りました。

今年は、例年見学に来てくれる地元雄勝中学校の生徒方の他、福島県三島町より22名が熱心に研修する姿が見られました。

この市場は、年に一度全国唯一の「桐原木市」ということで周囲からも期待されておりますが、原木の確保は年々難しくなってきています。これから大きな課題となっています。



検収中！ 1が最高単価で落札

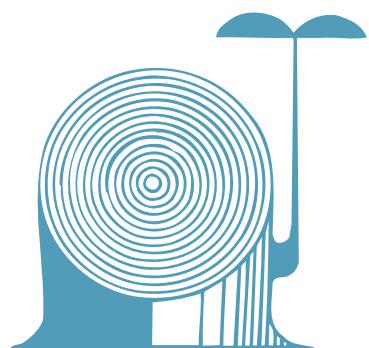


勉強中! 雄勝中の皆さん

賦課金の口座振替の皆様へ

7月26日(木)に指定口座より引落します。残高の確認をお願いします。

対象は、JAこまち、うご、秋田ふるさと及びゆうちょ銀行です。



第36回桐共販市入札結果

	件数・材積・金額		件数・材積・金額
出 品 件 数	336件	出 品 本 数	1,509本
出 品 材 積	152.255m ³		
売 上 件 数	228件	売 上 本 数	1,062本
売 上 材 積	106.154m ³	売 上 金 額	6,817,874円
平 均 単 価	1m ³ 当たり	64,226円	
最 高 単 価	1m ³ 当たり	354,054円	

木材市況

秋田木材流通センター入札結果

◆開催日
平成30年7月5日
m³あたり

3.65m(12尺)	高 値	安 値	平 均
14cm 下	8,000円	7,029円	7,963円
16~22	11,000円	8,529円	10,971円
24~28	12,129円	11,500円	11,656円

- 概況 由利署委託材の高樹齢は、材質次第の取引となるも全量落札で、高値で41,200円/m³。一般材では24~28cmで11,500円/m³、16~22cmで11,000円/m³と出品量も少なく単価も弱いながら量産工場が量をまとめた。広葉樹は落札なしの状況となった。

平成30年 6月 当森林組合販売平均単価

杉一般材						杉良材			カラマツ			
径級	2 m		3.65m (12尺)		4 m		径級	2 m		長さ	2m、4m	
	円／m ³	円／石	円／m ³	円／石	円／m ³	円／石		円／m ³	円／石		円／m ³	円／石
16cm下	4,500	1,250	4,500	1,250	4,500	1,250	22cm下	一般材に同じ		2 m	16,920	4,700
18~24	8,496	2,360	10,080	2,800	9,720	2,700	24~32	12,600	3,500	4 m	18,000	5,000
26~40	9,144	2,540	10,980	3,050	10,908	3,030	34~46	15,000	4,166			

植樹活動

6月下旬から7月上旬にかけて、植樹活動が山田小学校、雄勝小学校と切畠部落会で行われました。

いずれも、伐採された所をサクラやイタヤカエデを植栽して森にしようと地元小学校や集落が主体となって計画しており、植栽箇所だけでなく広く森林の大切さがアピールできることから、当組合も全面的に協力しております。

このような活動が各地で行われることで、山が本来の機能を発揮して、近年頻発している土砂崩れ防備の一助となればと幸いです。

尚、秋には羽後高校でブナの植樹が行われる予定です。

暑中お見舞い申し上げます。
総代会と広域合併二十周年記念式典が終了しました。記念式典では、庄司製材所社長から、身に余る謝辞を頂きました。「商品を買ってもらう」このことを行つてきましたが、少しだけ満足して頂けていると知りました。とは言え、多くの皆さんのご協力がなければ出来ないことです。心から感謝申し上げます。
来年度は、森林に関する新たな取組がスタートします。その準備年が今年となることになりました。詳しい内容がわかり次第、広報や地区座談会で紹介しますので少々お待ち下さい。

「終わり良ければ、すべて良し」平成最期の年度も、有終の美を飾るべく歩んで行きますので、組合員の皆様のご協力よろしくお願ひします。

編集後記



昨年植林した所の下刈－雄勝小学校



爺ちゃん上手だねー切畠部落会



友達と協力してー山田小学校